

オペラ 「月を盗んだ話」 オルフ作曲、岩河智子訳詞

2005年10月1日（土）、2日（日）  
2009年9月26日（土）、27日（日）  
2010年1月13日（水）、14日（木）、16日（土）、17日（日）

※行頭の「▽」は、その行が「セリフ」で有ることを示す。

語り（1） 昔々、さる国では、夜の空は黒い布をひろげたように真っ暗でした。  
ええ、その国には、そう、お月さまが昇らない  
月もなく、星もなく、空は深い闇ばかり  
天地創造の時に夜のための光が、ちょっと足りなかった。  
あるときそこから旅発つ4人の女たち。  
たどり着いたのはよその国。  
そこは山の向こうに日が沈むと、  
檜の木の、檜の木のその上に、丸い光が昇り  
あたりを柔らかかに照らし  
何でも見分けられる。お日さまより強くないその光で、

2女 あれなーに  
3女 あれなに、  
1女 あれなに？  
4女 なにが光る  
全女 なにが光る何が光る、光る、光る  
農夫 あれは月だ、あれは月だ、あれは月だ  
全女 月とは？  
農夫 月は村長が買ってきたさ。値段は300円。  
全女 300円で買ったの！？  
農夫 その木に  
全女 300円！  
農夫 つるした  
全女 月は村長が買ってきたの、値段は300円  
農夫 300円、300円  
全女 300円で  
農夫 村長は毎日油を注ぎ、月を磨くのさ  
全女 村長は毎日油を注ぎ、月を磨くとは！  
農夫 村人はお礼に  
全女 お礼に  
農夫 村長に、毎週  
全女 毎週  
農夫 支払う  
全女 支払う  
農夫 100円ずつ  
全女 ホントなの！  
農夫 本当ださ

全女 月とは  
 農夫 月とは  
 全女 そういものなの、月とは、月とは  
  
 1女 あの明かりは、あの明かりは、役立ちそうね！  
 ふるさとの櫛の木もちょうど、あれくらい  
 2女 それなら  
 1女 それなら  
 4女 それなら  
 3女 つるせる！  
 124女 つるせる！  
  
 3女 まあ、ありがたやこれでもう闇の中を  
 124女 手探りでよるよる歩く事もなくなる  
 全女 まあ、ありがたや、嬉しい嬉しい  
  
 4女 それじゃ、それじゃ、それじゃ、車を持ってきてそれで月を運びましょう  
 12女 車を持ってきて月を運びましょう  
 全女 車を持ってきて、月を運びましょう。  
 23女 ここではも一つ別の月を  
 14女 買えば良い  
 23女 別の月を  
 14女 買えば良い  
 23女 別の月を  
 14女 別の月を  
 4女 買うのが  
 3女 良い  
 2女 でしょ  
 1女 でしょ  
 3女 でしょ  
 4女 でしょ  
  
 木登りは得意なの、すぐにとってくるわね。  
 2女 木登りは得意なの、  
 123女 すぐにとってくるわね  
 全女 木登りは得意なのすぐに月をいただきますようよ！  
  
 ▽ 村長 歌) 月がとっても青いから  
 ▽ 遠まわりして帰ろう  
 ▽ あの鈴懸の並木路は  
 ▽ 思い出の小径よ  
 ▽ 農夫 罰当たりの村長め  
 ▽ 月をもっと光らせる！！  
 ▽ 村長 歌) 腕をやさしく組み合って  
 ▽ 二人っきりで サ帰ろう  
 ▽ 農夫 罰当たりの村長め  
 ▽ 酔っ払いの豚やろう！  
 ▽ 月が照っとらんじゃないか！  
 ▽ 村長 うーむ、たしかに。手を目の前に持ってきても見えやせぬ  
 ▽ すずで汚れちゃったかな？

▽ 農夫1 木に登れ！  
 ▽ 農夫2 るくでなしの村長め  
 ▽ 農夫3 月を磨け  
 ▽ 農夫4 きれいに磨け  
 ▽ 農夫3 どんどん磨け  
 ▽ 農夫 元のように光らせる！  
 ▽ 村長 はいはい、村長にまかせなさい！  
 ▽ まず、ランプをつけて持ってこい！  
 ▽ でなけりゃ、なにも見えやしないぞう！  
 ▽ (木に登る)  
 ▽ おお！月が無い！！  
 ▽ 枝に吊るした月が無い！  
 ▽ だから真っ暗なんだ！

村長農夫 ああ、消えうせた消えうせた、我らの月が  
 盗まれた盗まれた我らの月が  
 枝は空っぽ、あたりは闇ばかり

合唱 なにも、なにも、見えぬ、  
 ああ、道もわからぬ！

Bas2 われらの

Bas1 月が

Bas2 枝から

Bas1 消えれば

Ten1 あたりは

Ten2 闇ばかり

Ten1 道もなにも

Ten 判らぬ

子ども 泥棒さんがやってきて、お月さまを連れてったよ  
 山のふもとに埋めちゃったんだよ

合唱 どうしよう、どうしよう、どうしようどうしようどうしよう、  
 なんにも見えぬ、闇の世界、真っ暗だ

農夫 ふざけるなおまえ、村長！ 月を戻せよ、戻せよ、戻せよ、戻せ

合唱 どうしよう、どうしよう、どうしよう、何にも見えぬ

闇の世界、真っ暗だ

どうしよう、どうしよう、どうしようどうしようどうしよう

どうしよう、どうしよう、どうしようどうしようどうしよう

▽ 自分の村（女たちの村）にて

▽

▽ 村娘 女将さん！誰かやってきたわ！

▽ 女将 なんだって？ 誰かが来る？

▽ こんな夜更けに？

▽ 村娘 そう、何人もやってくるわ

▽ それも荷車と一緒に！

▽ 女将 荷車と一緒にですって？ 一体何を運んでいるのかしら？

▽ 別の村娘 荷車の上には、なにか光るものを乗せているわ

▽ 女将 光るもの？

- ▽ 大勢           そうよ、光だわ！
- ▽ 女将            どんな光だって？
- ▽ 大勢            一体、なにを運んでいるの！
- ▽                その光るものはなに？
- ▽
- ▽ 1女            これは「月」と言うものよ
- ▽ 全員            なんですって？
- ▽                なんて妙な光なの！？
- ▽ 1女            これは「月」なのよ
- ▽ 村娘1          これが「月」ですって
- ▽ 村娘2          これが「月」ですって？
- ▽ 村娘3          これが「月」ですって！！
- ▽ 1女            私たちは、皆さんのために！
- ▽                これを300円で買ってきたのよ！どう！？
- ▽ 全員            300円で！
- ▽ 1女            この「月」をあの樫の木に吊るすことにするわ
- ▽                そう、あの太い枝に！
- ▽ 全員            300円、300円、300円で！
- 女将            そんなもの、そんなもの、役にたつのかい？
- 全員            そんなもの、そんなもの、役にたつのかい？
- 300円の300円のお月さま、
- そんなもの、そんなもの、役にたつのかい？
- 1女            ほろ酔い加減の帰り道は、小さいランプじゃ危ないものよ
- ふらりふらり、体が揺れりゃ、ぐらりぐらりランプも揺れる
- だけども月は照らしてくれる、あたりをくまなく野原も道も
- これこそ、これこそ、これこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 全女            それこそ、それこそ、それこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 2女            ある晩酔っぱらって寝たとしましょ。
- 家中真っ暗何も見えない。ガチャリガチャリ掛け金はずし、
- そろりそろり、泥棒が来る
- だけども月は照らしてくれる、あたりをくまなく、扉も窓も
- これこそ、これこそ、これこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 全女            それこそ、それこそ、それこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 4女            例えば恋人と夜の逢引き手に手を取りあい闇夜の散歩
- ごっつんこ、ごっつんこ、いろんな物にぶつかって
- ムードもなにも無かったけれど、
- これからは月の光を浴びて、見つめあう二人の唇一つに重なり、キャー！
- これこそ、これこそ、これこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 全女            それこそ、それこそ、それこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 全員            それこそ、それこそ、それこそ月の、御利益御利益、ありがたいこと
- 全女            私らは、毎日油を注ぎ、月を磨かねば
- 他全            あんたらが毎日油を注ぎ、月を磨くとは、
- 1女            大変な労働のお礼に

村人 お礼に  
 全女 わたしらに  
 1女 毎週  
 3女 毎週  
 2女 支払って  
 4女 100円ずつ  
 村人 100円ずつ！  
 確かに、確かに、確かにそれは  
 全女 すてきな御利益、お月さま  
 全員 確かに、確かに、確かにそれは  
 すてきな御利益、お月さま、  
 ヤア！  
  
 女将 それでは、梯でぶら下げよう、、、  
 村人 ほらほら、みてよ、あれがお月さまよ、  
 あれが私たちの、あれがお月さまよ  
 見てよ、見てよ、あれが  
 全女 みんなの月よ  
 遠くから (ふざけるな、お前村長、ろくでなし、、、)  
  
 語り(2) そして4人は、お月さまを、ふるさとの、檜の木にかけた  
 老いも若きも、嬉しい事よ  
 このランプは、照らしてくれる  
 野原も部屋のなかも……  
  
 (間奏)  
  
 語り(3) 毎日毎日油を注ぎ、月を磨く四人はその仕事で  
 週に100円もらいました。  
  
 でも、でも、いつか四人の女も、年を取って、  
 一人が病に倒れて、いまわの際に言った、  
 あのお月さまの四分の一は私のものだから、  
 一緒にお墓に入れて,,,と。  
  
 (第1の女が月の掛かる木の下に運ばれてくる)  
  
 1女 今はこの世の最後、あの世の始め、光と闇の境目よ  
 ああ、もてるものは全て使い果たし、全て飲み干し  
 時は流れ、  
 でも、檜の木の上のあのランプは  
 どうか私の亡き骸にそえて  
 いつも世話をして、大事に守ったね  
 お墓に入れて、私の分を  
 村人 ええ、解りました、解りました、  
  
 ▽ 1女 台詞) ねえ、、あたしが死んだなら、、、  
 村人 大丈夫よ  
 ▽ 1女 台詞) その時は長い梯で檜の木に上って、  
 村人 大丈夫よ

- ▽ 1女 台詞) 大きな植木ばさみで、月の四分の一を切り取って…… (死ぬ)
- ▽ 女将 台詞) 村長さん。木に登って、この人のために月をとってきておやりよ。
- ▽ (村長、月を4分の1切り取る。月は赤い血の色を帯びる。梯の上から村長は
- ▽ 切り取った月の4分の1のかけらを示すと、みな驚愕の声を上げる)
- ▽ 全員 おおっっっっ！！

村人 我らは見ている、死に行く友の  
 瞳は映さぬ、我らの姿  
 命が果てれば、広がる死の世界  
 みな同じ事だ、だれもが逃れられぬ  
 酒が喉をすぎるように、時は体を流れる  
 貧乏人も大金持ちも、やがて土に帰る  
 おお、、、  
 (棺は地下の墓穴に安置される)

語り(4) 約束、守り村長は、樫の木に登って、月を植木ばさみで  
 四分の一切って、棺に入れた。  
 月は、ちょっと暗くなったけど  
 (喋り) まだそれほど目立ちませんでした (喋り終わり)  
 次の時も樫の木に登って、  
 月を植木ばさみで四分の一切った。  
 月はもっと暗く、、、

- ▽ (語り、とつぜん本を棒読みするように台詞で語る)
- ▽ そして2人目の女が死んだとき
- ▽ 村長は木に登ると、植木ばさみをふるって
- ▽ 月の四分の一を切り取り
- ▽ 月の光はさらに弱まった
- ▽
- ▽ 同じように分け前をもらって
- ▽ 3人目の女が死ぬと
- ▽ 光はもっと弱くなった

四人全員死ぬと、四人全員死ぬと、  
 昔のような闇夜に

夜の道端で、村人はしょっちゅう

ごっつんごっつん頭と頭  
 ぶつけていた

(場面は死者の世界。4人が月を抱いて棺桶から出てくる)

語り 月が照り出すと、地面の下で眠る死んだ人たちは、  
 そわそわして目を覚ます

死者Bas ありやなんだ？

死者Ten1 ありやなんだ？

死者Ten2 ありやなんだ？

死者Bas      ありゃなんだ？  
 死者           あれなに？  
                   あれなに、あれなに、あれなに？  
 全員           なにか光る光るのは何？？

1女            これ月と言うもので、

▽ 4女           いやな夜を追い払うために  
 ▽ 2女           私たちが持ってきたのよ。  
 ▽ 3女           光ってまぶしいものだから  
 ▽ 2女           棺桶のふたをこじ開けて、  
 ▽ 4女           月をこうして吊るしてみました。  
 ▽ 2女           そしたらみんなも浮かれ出て  
 ▽ 3女           これこそ月の  
 ▽ 1女           力だわ！  
 ▽                だから、さあみなさん、この際パーティーを始めましょうよ

1女            みなさん聞いて！  
 123女          もう死んでいるのはやめましょう  
                   さあ、もう一度愉快地  
                   ご馳走にお酒に、浮気もしちゃう  
                   楽しみましょう、月の照る間  
 1女            月が消えれば、月が消えれば  
 全女           永遠の眠り、その時は  
 1女            蘇りの祝いの酒を  
 2女            かび臭いはらわたにしみるワイン  
 全女           暖まるわね！  
                   お化粧直して、朽ち果てたからだ、  
                   動かせ飛び出せ、  
                   眠りの時は過ぎ去り、今や喜びの時、喜びの時  
                   楽しい所、墓場よ！

全員           お化粧直して、髪の毛とかして  
                   朽ち果てたからだ動かせ飛び出せ  
                   眠りの時は過ぎ去り、今や喜びの時、喜びの時  
                   楽しい所、墓場よ！

死者           みごとな太鼓、見事な太鼓  
 死者           博打が博打が  
 死者           博打が出来る  
                   トランプ遊び、ボーリングも、暇つぶしにやもってこい  
                   まだのめる、もっとのめる  
                   売り飛ばせこれを  
 全女           やりたい事なら何でもやりましょ  
                   やりたい事なら何でもやりましょ  
                   生きているときは苦しみばかり  
                   だけどここは  
                   やりたい事なら何でもやりましょ、  
                   やりたくないならやめましょ、やめましょ  
                   生きている時は苦しみばかり  
                   だけどここは、

何でも出来る\_\_!

- ▽ ▽トランプ遊びの死者たち
- ▽ 死者1/安田 まるでまだ墓にいるようなシケタ手だな
- ▽ 俺が先手でいただくぜ、、、おっっとう!
- ▽ 死者2/磯谷 はっはっは、お前の負けだ、金は貰っとくぞ
- ▽ 死者1/安田 てめえらしいやり口だ 汚いやつめ!
- ▽ 死者3/原 良くほえる犬が咬んだ試しはないぞ
- ▽ 死者1/安田 うるさいぞ 出しゃばるな
- ▽ 死者3/原 それは残念、金をたんまり持っているだがな
- ▽ 死者2/磯谷 金があるって? じゃあ、仲間に入れ
- ▽ むしり取ってやるぞ
- ▽ 死者3/原 それはさしの勝負のお楽しみ。
- ▽ まず、この決着を付けてしまえ!
- ▽
- ▽ ▽サイコロ遊びの死者たち
- ▽ 死者1/橋本 いかさまはご法度だ
- ▽ みつけたらただじゃおかないぞ
- ▽ 死者2 馬鹿にするなよ (サイコロを振る)
- ▽ 死者1/橋本 また負けた、死者に安らぎのあらんことを!
- ▽
- ▽ ▽トランプあそびの死者たち
- ▽ 死者1/安田 良い手が揃ったぜ
- ▽ 死者2/磯谷 まだあきらめるものか
- ▽ そうら切り札だ!
- ▽ 死者3/原 おっと! そいつはいただいておこう
- ▽ 死者1/安田 ははは、墓穴を掘りやがった! さすが死人だ。
- ▽
- ▽ ▽ポーリングしている死者たち
- ▽ 死者/土本 ここで一発逆転だ!
- ▽ 死者/伊勢田 任せとけ! (球を転がす)
- ▽ 死者/土本 ストライクだ!
- ▽ 全員 ストライクだ!!
- ▽
- ▽ ▽酒盛りをしている死者たち
- ▽ 死者/原 これからは二人っきりでどうだい
- ▽ 死者 おらおら、おれの女から汚い手をどける
- ▽ 死者/橋本 やつはまたまた手当たり次第!
- ▽ 死者/磯谷 女たらしは死んでも直らない、ってか!?

酔っ払いの合唱 命短し、死ぬほど素敵な人

私をすてたのね

どこに消えたの

どこ、どこ、

あの人は、いって、いって、いって、いってしまった

あの人は、いって、いって、いって、いってしまった

どこ、どこ、ああ、死ぬほど好きな人!

「命短し」死ぬほど好きな人

今はなき恋人、どこに消えたの、どこ、どこ、  
ああ、死ぬほど好きな人

死者 金をやるから体をよこせ  
合唱 お金をやるから体をよこせ  
死者 さよなら、それはいやだわ  
合唱 さよなら、それはいやだわ  
死者 お金抱いて  
合唱 お金抱いて  
死者 お眠り  
合唱 お眠り  
死者 この金を持って、商売女の寝床で楽しむのだ  
合唱 寝床で楽しむのだ  
死者 止めるなら  
合唱 止めるなら  
死者 いまだぞ  
合唱 いまだぞ

1女 やりたい事なら  
3女 何でもやりましょ  
124女 やりたい事なら何でもやりましょ  
生きているときは苦しみばかり  
全女 だけどここは  
やりたい事なら何でもやりましょ、  
やりたくないならやめましょ、やめましょ  
生きている時は苦しみばかり  
だけどここは、  
合唱 だけどここは  
やりたい事なら何でもやりましょ、  
やりたくないならやめましょ、やめましょ  
生きている時は苦しみばかり  
だけどここは、

▽ 死者/原 糞さえしなけりゃ誰だって紳士だ！  
合唱 そう、そう、そう、そう、、、  
何でも  
全女 出来る\_\_！

(原ト書き／ボーリングをしていたものたちは競技をやめて酒のみたちの仲間に加わる。  
サイコロ遊びと、トランプ遊びの連中は口も聞かず勝負に夢中になっている。……月に油が注がれる)

ペトルス どうした、なにごと  
ああ、誰が騒ぐのか  
ああ、どこでわめくのか  
この雲が邪魔して見えないぞ、なにも  
だが変だぞ、真っ暗だ  
静かだ、あたりは何も、

こだまさえ今は消えてしまった  
では、あれは空耳か、

(地下から)

死者/安田 てめえ！  
死者/磯谷 こら！  
死者/原 ずるいぞ  
死者(遊佐) 飲みなさい、頭が良くなるから  
死者 いかさま  
死者 なんだこりゃ  
死者 エースが七枚だと！  
死者 喧嘩はやめなさい、やだねえ、酔っぱらっちゃって  
死者 このやろう  
死者 金を返せ  
死者 殺せ、殺せ、殺せ、  
死者 馬鹿野郎  
死者 女房がいるのに  
死者 いるからこうして憂さ晴らし  
全死者 何も変わらない、これが世の定め  
いかさましてももうけは少ない  
この世はブランコ、ブランコなのさ  
大きなブランコ、ブランコなのさ  
沈んだ誰かがまた浮かび上がり、  
だましたほうがすっからかんに

だから最後までひるんじゃダメだぞ  
襟首つかんで、ほら踏んづけて、  
食うか食われるか、脳天ぶち割れ  
やれ！やれ！ぶちかませ！

死者 やるのか！  
死者 消えてなくなれ\_\_！ブタども  
4女 みんな月が大事なら、静かにして  
死者 その生意気な口をふさいでやる  
2女 ダメだこりゃ  
3女 こりゃ  
4女 ダメだ  
1女 もう、こりゃダメだ、はずそう  
全死者 なにも変わらない、これが世の定め  
いかさましても儲けは少ない、  
少ない、少ない、少ない、ない、ない、ないない  
ない、ない、ない、ああ、

ペトルス そうか。あれは地の底だ。  
死者が目を覚まして騒いでいるのだ。  
では、ワシも一つご挨拶を

死者 月の明かりをともしよ、灯せよ、灯せ、灯せ、灯せ、  
(原作ト書き：ペトルスは大きなほうき星を一つとって、  
死者たちめがけて投げ下ろす。)

死者 あああああ！！

(電光と落雷の轟音。)  
死者たちの大きな叫び声上がる。  
空の光が消える。  
遠くで雷鳴がこだまし、やがて完全な静けさとなる。

(女たちが火打ち石を打っている音が聞こえる。  
彼女らは再び月に明かりを灯す。  
死者たちはほうき星が落ちた際の驚きで倒れ伏したまま  
取り乱してじっとしている。  
穴蔵のずっと奥の方からペトルスが歩いて姿を現す。

▽ ペトルス (台詞) あれは何だ。何と言う光だ？

1女 あれは月  
3女 知らないの？  
2女 月明かりで大げんか  
4女 それでここに取りあげた

▽ ペトルス なるほど、あのランプ、あれが月なのか  
▽ それでお前たちは浮かれているのだな。  
▽ 長い間明かりを見てなかったものなあ。  
▽  
▽ それに、ここは本当にくつろいだ気分になれるところだ。  
▽ だれだって酒盛りをしたくなるものさ。  
▽  
▽ さあ！？ 一体どうしたと言うんだ？  
▽ なにをちぢこまっているんだ？  
▽ さっきは突拍子もない声で叫びまわって、  
▽ 楽しげに騒いでいたじゃないか  
▽  
▽ わしが来たからと言って遠慮はするな、  
▽ 気ままにやろうじゃないか  
▽ 諸君！

死者たち へんだ、へんだ、驚いた。ペトルス妙に柔らかい  
全女 変ね。  
ペトルス さあ、みんな飲もう  
ぶっ倒れるまで

(死者たち起き上がって、酒場めいたものをしつらえる  
こよりをひねって月のランプから火を貰うものがある。  
薪を集めて炉の火をもやすものがある。)

全女 トランプ隠せよ、博打の跡も、喧嘩はダメだ、今は楽しく  
死者たち トランプ隠せよ、博打の跡も、喧嘩はダメだ、今は楽しく  
4女 楽しく

2女                    楽しく  
 13女                    今は楽しく  
 4女                    喧嘩は  
 2女                    喧嘩は  
 13女                    ダメだよ喧嘩は

死者                    松明灯せ、暖まろうぜ、酒樽よこせ、  
                           ベトルス爺さん、飲んだら止まらない  
                           ささ、薪を燃やせ、さあ、薪を燃やせ  
                           酒場のテーブル忘れちゃならない  
                           ひじ掛けイスは、そうね、ここにしましょう

全女                    ここに\_\_！  
                           さあさ音楽よ

4女                    ポルカにサンバ  
 123女                    ヴァイオリンにフルート  
 4女                    楽しくやりましょう  
 死者                    月に油を、

3女                    ペトルスじいちゃんいかが？  
 2女                    来たかいあった？  
 1女                    くつろげるでしょ？  
 4女                    音楽始め、景気良くぶっ飛ばせ

(いろいろ楽器演奏)

ペトルス              お酒はうまいし、月影はさやか  
                           心地よいこの場所、動きたくないぞ  
                           月影さやかでお酒はうまいよ  
                           長靴脱ごうか、遠慮はいらない

死者たち              杯重ねよう、在りし日のように  
                           お月さま輝けば楽しみも永遠に  
                           楽しみも永遠に。

ペトルス              冷たい嵐が吹き荒れている地上は、  
                           寒さに凍えて苦しみかかえて  
                           人はみなつぶれそうだ  
                           だが、ここは悩みも苦しみもない。ここには、  
                           だが浮き世の人は行くべき道をめざし  
                           いるべき場所がある

まあ、飲めよ、さあ、飲めよ  
 もう一杯、もう一杯、もう一杯  
 かわいい奴、自分のその場所を充たせよ  
 まあ、飲めよ、さ、飲めよ  
 晴れた日も、まあ呑めよ、さ、飲めよ  
 雨の日も、もう一杯、もう一杯、もう一杯  
 かわいい奴  自分のその場所を充たせよ  
 晴れた日も、雨の日も

(ペトルスは不思議な魔法を使い、死者たちは酔い、眠る、、)

ペトルス 天の高みに座ると、はるか下、地上の騒ぎ  
上は星の天井  
ああ、どれほど一人そこで過ごしたことか  
夢か幻か、そびえる雲のかなた、巡る宇宙の  
歯車を眺める  
星々が昇り、回り、しずむさまを時や日々が刻む、  
永遠の道筋を。  
天の秩序見守り、わしは今日も歩く、夜空の番人

雲の裂け目から見下ろす地上は  
人間たちが愛し憎み殺し合い  
だまされてはよりを戻し  
なんて奇妙、人の世は、どれほど考えようと  
だめだ、捕らえられない  
だが、みな一度はあそこにいたのだ

死者たち そうそう、確かにいたのだ  
そうそう、確かにいたのだ  
そう、あそこに確かにいたわ  
みんな、みんな、みんな、みんな、  
みんな一度は、そうそう、  
ペトルス 語れというのか、地上の苦しみを、  
過ぎ去りし日々の曲がりくねる道で  
ここに降りてくる時の訪れを、  
ただ待ちわびている人のいることを。  
お眠り、お眠り、どこにも行かず  
静かな闇に抱かれて眠れ

▽ ペトルス (台詞) そら、カタカタというあの音を  
しずかに車の回る音を聞け  
宇宙の大輪がまわる音を聞け  
何時かはそれも止まるとしても

(ペトルスは角笛を吹く)

ペトルス 聞けよ、さあ、死んだ者よ  
寿命はもう終わったのだ  
命の消えた者に光はいらぬはず

▽ どうだ、横になりたいだろう  
▽ 手も足も 重いだろ  
▽ おもちゃ箱へ  
▽ くたびれたお前たちは棺の中へ、  
▽ そこで 眠るのだ。

聞けよ、さあ、死んだものよ  
吊いの鐘も消えた、  
喜びも咎めもなく、静かに眠れよ  
眠れ、眠れ、眠れ、、、

語り(5)      こうしてペトルスは、死者たちを  
お墓の中に、お墓の中に眠らせました  
そして月を、そして月を持って行って  
吊りました。  
空高く。

(地上。男女とその子供がハミングしながら登場)

▽ 地上の子ども      あ！お月さまが出ているよ！

(死者たちのいびきが聞こえる)

完